

不登校も考える親の会

(代表) 加嶋文哉

〒876-0814

佐伯市東町12-15

0972-24-1669

(E-mail) ichibanboshi@hoshinokai.net

(URL) http://www.hoshinokai.net/



次回
予告

- 昼の大分例会…4月6日(土) 13:00~16:20
 - 別府例会…4月6日(土) 19:00~21:00
 - 豊後大野例会…4月11日(木) 19:00~21:00
 - 津久見例会…4月12日(金) 19:30~22:00
 - 夜の大分例会…4月19日(金) 19:00~21:00
 - アンダンテ星の会…4月13日(土) 15:00~17:00
- 変更する場合がありますので、来月の会報で必ず確認して下さい
会報発送作業予定日は、3月28日(木)です

ならない。「このまま消えてしまいたい。」と心でつぶやく…。
このように、不登校をしている子どもにとって、毎日の「朝」は恐怖の時間なのである。

そうすると、朝のつらい時間は、寝ているうちに過ぎるのを待つようにする。そうもしないと心が壊れてしまうのである。いくら周りの理解があったとしても、学校に行けない自分を許すことができず、苦しくて耐えられないのである。

「夜」は、世の中全てが動いていないために、安心して自分の好きなことができる。まず、「学校に行こうか、どうしようか」と悩む必要がない。そうすると、自分を責めずにすむし、周りに気を遣わなくてよい。不登校をしている子どもが、安心できる唯一の時間が「夜」なのである。「…しなくてはならない」ことに縛られる朝の時間と違い、「…したい」を楽しんで自分を取り戻すことができるのが夜の時間なのである。

「昼夜逆転」のままでは不登校を続けるので、「不登校をなおすには、まず、朝は起こして生活リズムを壊さないようにすることが大切である」と大人は考えるが、それは子どもの目線で見ると大きな錯覚である。前述したように、「昼夜逆転」は不登校をすることで葛藤が高まった「結果」であり、不登校の「原因」ではない。だから、仮に「昼夜逆転」の生活をなおしても、子どもは学校に行くとはならないのである。また、「昼夜逆転」の生活に慣れていと怠け癖がついて、いざ学校に復帰する時に体がいうことをきかないのではないかと心配することもある。しかし、子ども自身が「学校に行こう」「学校に行きたい」と思ったり、何かやりたいことが見つかり、「昼夜逆転」の生活を簡単にもとに戻すことができる。そうした青年の経験を、19年目を迎える星の会の歴史はたくさん知っている。

3月例会

■第113回 大分例会 (通算472回)

- 3月2日(土) 13:00~16:20
- 大分コンパルホール 302会議室(3階)
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問合せ 安部さん 090-8223-8250

■第37回 別府例会 (通算473回)

- 3月2日(土) 19:00~21:00
- 別府市社会福祉会館(駅前青山通り ホテル白菊の裏)
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問合せ 西田さん 090-7389-1577

■第186回 津久見例会 (通算474回)

- 3月8日(金) 19:30~22:00
- 広浦公民館
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問合せ 戸高さん 090-9792-7317

■第7回 豊後大野例会 (通算475回)

- 3月14日(木) 19:00~21:00
- 豊後大野市役所(新庁舎) 会議室(2階)
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問合せ 佐藤さん 0974-22-0523

■第114回 大分例会 (通算476回)

- 3月15日(金) 19:00~21:30
- 大分コンパルホール 311会議室(3階)
- 参加費 会員は200円/一般は500円
- 問い合わせ 中島さん 090-4516-3964

不登校支援も 子どもの立場で考える

「昼夜逆転の生活」にある子どもの思い

子どもが不登校をすることで、周りの大人が不安になるのが「昼夜逆転」の生活である。「学校を休ませる」ことは認めるが、「昼夜逆転」の生活はしない方が良いという意見は多く聞かれる。専門家の中にも「学校を休ませることは良いですが、昼夜逆転の生活にならないように気をつけて下さい。」というアドバイスをする人は少なくないようである。そのため、不登校支援の内容(目標)に「生活リズムを整える」を入れていることも多い。

ところで、不登校をしている子どもにとって、「朝」という時間はどのような時間なのであろうか。

朝、目が覚めると、「学校に行こうか、どうしようか。」と悩みが始まる。「みんな学校に行っているのだから、自分も行くべきだ」と葛藤する。それでも、起きることができない自分を「こんな自分ではだめだ」と責めてしまう。そのうちに、家の人が部屋まで起こしに来る。重い体を引きずりながら起きて、なんとか食卓に着く。「今日、休みたい。」という言葉がなかなか口に出ることができずに時間が過ぎる…。体温計で測ってみても、熱はない。

「どうするの?学校に行くの、行かないの?」と親が聞いてくる。だんだんお腹が痛くなってくる。やがて、親は「今日は行けないなあ。」とため息をつく。学校に休む連絡をする親の声を聞くと、自分が情けなくなる。部屋に戻りふとんの中に入るが、決して楽には

2013年の
会費

を納めて下さい
年会費は 2000円です

- 会費は2013年の分だけで結構です。2012年以前の滞納があっても徴収はしません。
- ◎振込みは 大分信用金庫 渡町台支店(普) 0228692 加嶋文哉 まで
振込み手数料は、会員さんの方で負担して下さい。
- ◎加嶋宛に封書で郵送して下さい。その際は、外からお金が見えない工夫して下さい。
- 星の会をやめたい方は、加嶋まで電話かメールかハガキ・封書等でご連絡下さい。
長期に会費が未納の方は、退会の手続きをとらせていただくことがありますのでご注意ください。

会費を納めたかどうか
はっきりしない方は…

封筒に貼られた
ラベルを見てください

876-0814
佐伯市東町12-15
加嶋文哉 様

様

名前につく「様」の後に
0 の数字がある方は、未納です。
-1 の数字がある方は、納めています。
尚、間違いがある場合は加嶋までご連絡を。